



同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化(カルチャー)にくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回は、二の丸、三の丸について学びます。

ミナちゃん：そういえば、**二の丸**にはもうひとつ特徴的な遺構があるわね。

ジローくん：わかった！高石垣の南端、鳥取県西部医師会館のはす向かいのところにある、石垣で四角く囲まれた広場みたいなところのことだね。

かるちゃん：たしかに特徴のある形だね。**枅形虎口**っていうんだけど、虎口とはお城の出入り口のこと。石垣で囲まれた四角い形が「枅」に似ているので枅形というんだ。ここは、三の丸から二の丸へのルート^{ますがた}の正門にあたるところで、城兵の集合場所にもなっていたんだよ。

ジローくん：そうだったのか。「ますがた」っていう言葉はよく耳にするね。

かるちゃん：枅形虎口は、三の丸から入ったところ、つまり西部医師会館側の入口のところに第一の門、広場に入ると今度は90度左折して、急な階段を上ったところに第二の門があって、さらに階段に向かって右側には**二重櫓**といったように、2つの城門と石垣、櫓を巧みに組み合わせた構造になっているんだ。何でかわかるかな。

ミナちゃん：なんだか簡単には二の丸にたどり着けないぞ…って感じね。

かるちゃん：そう。お城の出入口は攻められやすいところだから、実はこれが防御のための工夫なんだよ。敵が侵入してきても、一直線に突進することができないし、城の奥までの見通しもきかない。しかも第二の門を突破するには石段も駆け上がらないといけない。こうして攻撃の勢いをそいだところに、石垣の上から弓矢や鉄砲の集中攻撃だ。

ジローくん：まさに袋のねずみ。^{いれもつたしん}一網打尽というわけだね。

ミナちゃん：二の丸の守りを重視していたのね。ところで二の丸の外側、**三の丸**はどんなふうだったのかな。今でいうとどのあたりになるんだろう。

かるちゃん：三の丸は城郭の中で最も広い場所で、絵図を見ると、現在のジュンテンドーや全日空ホテルのあたりから、湊山球場、鳥大医学部附属病院のあたりまで含まれているのがわかる。ここには米蔵、厩、作事小屋、番士の詰所など多くの建物のほか、馬場まであったんだ。

ジローくん：へえ～、三の丸って広がったんだね。城というより町みたい。

かるちゃん：そうだね。正面入口にあたる**大手門**は、全日空ホテル前の国道9号線交差点のあたりにあって、そのほか城山を囲むように**搦手門**、**鈴門**が配置され、外周には内堀をめぐらせていた。三の丸の中心部は湊山球場のあたりになるんだけど、一般的に三の丸は、官公庁、学校等公的機関の建設や市街化などで開発されてしまった例が多い中、米子城の場合は、球場であったが故に開発の影響を免れてきたんだ。こんないい状態で三の丸から二の丸、本丸を一望できる城は全国的にも珍しいんだよ。そういう意味でもこの場所は、きちんと保存して後世に伝えるべき貴重な歴史遺産だといえるね。

ミナちゃん：それはすごい！この秋も米子城の講演会やガイドウォークのイベントがあるので、また参加してみようかな。

ジローくん：おっ、それは広報やホームページをチェックしとかなきゃ！知れば知るほど米子城に萌えちゃうね。

ますます米子城ファンになったミナちゃんとジローくん。次回も目が離せませんね。おたのしみに！

(米子市教育委員会 文化課)



二の丸枅形虎口跡
(米子城跡ガイドウォーク)



伯耆国米子平図
(宝永6年(1709))



二の丸跡から見た三の丸跡(湊山球場)
(米子城跡ガイドウォーク)